

序章

はじめに

策定の趣旨

本県は、古くから鉱物や森林、食料など、様々な資源に恵まれてきました。こうした資源の開発にたゆまぬ努力を続け、供給を行うことで、本県は、日本の近代化や戦後の復興、その後の高度経済成長を支える重要な役割を担い、屈指の「資源大国」としての地位を築き上げてきました。

しかしながら、資源の枯渇や海外産の安価な資源の流入等により、資源供給型の本県の産業基盤が弱体化したほか、大都市圏への若年層の流出と少子高齢化が急激に進行したため、本県は、長らく「全国最大の人口減少県」の地位に甘んじてきました。

近年、国際情勢の変化や気候変動に伴い、エネルギーや食料等の安全保障の重要性が増大する中、本県は、多様な再生可能エネルギー源や広大な農地などを生かし、日本の発展に大きく貢献することで、再び“存在感”を取り戻し、新時代を力強くリードすることのできる可能性に満ちあふれています。

本県が有する自然や文化、人材など有形無形の資源のポテンシャルを最大限に引き出し、大胆な発想と斬新な手法も積極的に採り入れながら、“秋田の再興”に向けた新たな一歩を踏み出し、持続可能な秋田づくりを進めていくため、この計画を策定します。

計画の位置づけ

この計画は、県政運営の指針となる最上位計画であり、各分野の個別計画と一体となって効果的かつ効率的に取組を展開するために策定するものです。

なお、「まち・ひと・しごと創生法」に基づく地方版総合戦略としても位置づけるものです。

計画期間

2026年度から2029年度までの4年間とします。

基本理念・目指す姿

秋田の再興に向け、この計画における「基本理念」と「目指す姿」を次のとおり定めます。

基本理念： 寛容・挑戦・安心

目指す姿： 新時代に咲き誇る秋田

～県民の夢を育み、県民の希望をかなえる～

「寛容」とは、年齢、性別、国籍、障害の有無など、多様な背景を持つ人々が、お互いの個性、自由な発想を尊重し、誰もが自分らしく活動できる、あたたかい包容力に満ちていることです。

「挑戦」とは、若者から高齢者まで、誰もが新しいことに臆することなく、失敗を恐れずに果敢に挑むことができ、創造的なエネルギーがあふれ、未来を自ら切り拓く活気があることです。

「安心」とは、日々の生活から将来にわたるまで、不安なく心穏やかに過ごすことができ、県民一人ひとりの暮らしと命が守られ、「この県に住み続けたい」「この県に暮らしていて良かった」と心から思えることです。

県民が活躍し、未来を切り拓くための拠りどころとなるこの基本理念のもと、「新時代に咲き誇る秋田」を目指します。

- ・多様な個性が尊重され、自由な発想が息づく環境で、誰もが自分らしい夢を見つける。
- ・挑戦の精神により、その夢を実現へと育てあげ、具体的な希望や成果として結実させる。
- ・心穏やかで安心に満ちた中、その成果や暮らしを未来につなぎ、次世代へと引き継いでいく。

「新時代に咲き誇る秋田」という言葉には、こうした過程を通じて、“秋田で咲かせる自分の花”に誇りと喜びを感じられる、そんな秋田を実現したいという願いを込めています。

今、世界は、地政学的リスクや経済安全保障の強化の高まりによって、国際秩序や供給網が大きく揺らぐ変革のさなかにあります。また、DXやGXの加速など、かつてない大きなうねりが押し寄せています。こうした時代の大きな転換期において、本県の持つ広大な農地や再生可能エネルギー源などの持続可能な地域づくりの基盤は、食料やエネルギーの安定供給という何物にも代え難い価値を持つ新たな時代を迎え、秋田にはかつてない大きなチャンスが広がっています。

この好機に臨み、県民が互いに多様な個性や才能を尊重し合うとともに、一人ひとりが失敗を恐れずに挑戦し、思い思いに咲き誇る。こうした県民それぞれの開花が、新たな知恵と活力を生み出し、本県の多様なポテンシャルと力強く結びつくことで、秋田を“新時代のトップランナー”へと飛躍させ、豊かな未来へとつながっていきます。

県では、この理念と目標に基づき、県民本位の県政運営を図り、未来を切り拓く施策を強力に推進してまいります。